



# 目次

## I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査項目	1
3 調査方法	1
4 回収結果	1
5 回収の属性	2
6 報告書の見方	2

## II 調査結果

1 ふだんの生活意識について	3
2 さまざまな人権問題の意識や考え方について	
(1)女性に関して	8
(2)子どもに関して	10
(3)高齢者に関して	12
(4)障がいのある人に関して	14
(5)同和問題に関して	16
(6)外国人に関して	18
(7)現代社会における新たな問題について	20
3 真庭市の人権施策・啓発について	
(1)人権問題に関する講演会・研修会について	22
(2)真庭市人権作文・ポスター・標語集について	23
(3)人権啓発パンフレット「ふれあい」について	25
(4)「人権を尊重しあい、共に生きる社会」の実現に向けて	26
4 人権に関する自由意見	28

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

平成17年3月31日、9か町村の合併で「真庭市」が誕生以来、市では「賑わいと安らぎの杜の都 真庭 ～好きです真庭 ずーっと住みたい 私たちのまち～」の実現を目指してきました。同年6月に「真庭市人権教育基本方針」「真庭市人権教育推進指針」を、平成18年7月に「真庭市人権教育推進方針」を策定し、それに基づき、さまざまな取組みを進めてきました。

こうした取組みの1つとして、平成22年に人権問題に関する市民の意識について状況を把握し、人権教育・啓発をはじめとする今後の人権施策を総合的・効果的に推進するための参考資料とするため「人権に関する意識調査」を実施しました。その後、市民の意識にどのような変化が見られるのかを把握するため、平成30年に再度調査を実施しました。

市民一人ひとりが人間として尊重され、いきいきと暮らせる地域社会「共生社会まにわ」の実現を図るため、有効に活用していきます。

## 2 調査項目

- (1)ふだんの生活意識について(3問)
- (2)さまざまな人権問題の意識や考え方について(14問)
- (3)真庭市の人権施策・啓発について(5問)
- (4)人権に関する自由意見

## 3 調査方法

- (1)調査地域 真庭市全域(どの地域からも4～5%の抽出)
- (2)調査対象 市内全域から、地域・年齢構成を配慮し、無作為に抽出  
満15歳以上の男女 2,000人
- (3)調査方法 郵送配布・郵送回収
- (4)実施時期 平成30年7月上旬配布、7月27日締切

## 4 回収結果

- (1)有効回収数 662人
- (2)回収率 33.5%

調査発送数	2000人
回収数	669人
回収率	33.50%
無記入	7人
有効回収数	662人
有効回収率	33.10%

## 5 回収の属性

### 【アンケート対象者と回答者の内訳】

調査年齢	男性 回収数	女性 回収数	全体回収数	送付数	回収率 (%)
15～19	9	10	19	103	18.4
20～29	7	18	25	163	15.3
30～39	14	34	48	213	22.5
40～49	20	50	70	249	28.1
50～59	43	55	98	257	38.1
60～69	81	94	175	381	45.9
70～79	70	63	133	291	45.7
80以上	52	42	94	343	27.4
合計	296 (45%)	366 (55%)	662	2000	33.1
高齢などによる未記入			7		
全体合計			669	2000	33.5

## 6 作成までの流れ

平成30年 6月14日 真庭市人権教育推進委員会で意識調査の実施を承認

7月上旬～27日 意識調査実施

8月～12月 アンケート集計作業

12月11日 第1回意識調査検討委員会開催 集計結果確認

平成31年 2月20日 第2回意識調査検討委員会開催 自由記述掲載内容検討

3月～5月 数値の再確認及び報告書体裁調整

## 7 報告書の見方

(1)本文及び表中に示した調査結果の数値は、百分率で示しています。これらの数値は、小数第1位を四捨五入しています。そのため全項目の回答比率の合計が100%にならないことがあります。

(2)前回と今回調査の経年比較を行うことも調査の主眼の1つなので、表中、前回調査の数値は( )で示しています。参考にしてください。

(3)複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100%を超えることがあります。

(4)報告書中の「その他の回答」には、調査票の各回答項目「その他(具体的: )」に記入いただいた内容を抜粋して、掲載しています。

## II 調査の結果

### 1 ふだんの生活意識について

問3 あなたは、次にあげることについてどう思いますか。(○は1つだけ)

	当然のことと思う。	おかしいと思うが自分だけ反対しても仕方ないと思う。	間違っていると思う。	関心がない。	無回答
①「大安」「仏滅」などを気にする。	52% (51.9%)	23% (23.1%)	3% (3.6%)	20% (18.6%)	2% (2.7%)
②結婚相手を選ぶときには、家柄などの釣り合いを気にする。	19% (17.4%)	23% (25.4%)	33% (36.4%)	21% (17.7%)	4% (3.1%)
③家の相続など、長男には他の子どもとは異なる役割がある。	19% (24%)	15% (14.7%)	48% (45.5%)	15% (12.1%)	4% (3.6%)
④女性は男性を立てたほうが良い。	22% (36.8%)	15% (12.3%)	45% (35%)	15% (12.3%)	3% (3.6%)

全体(662)

ふだんの生活意識について前回調査と比較して、  
変わった項目と変化の少ない項目が見られる

古くからの言い習わしや慣習に対するふだんの生活意識をたずねたところ、同調的な意見(「当然のことと思う」「おかしいと思うが自分だけ反対しても仕方ないと思う」)の合計は、『①「大安」「仏滅」などを気にする』が75%と最も高く、前回の調査と大きな変化は見られない。一方④『女性は男性を立てたほうが良い』は前回の49.1%から今回は37%と減少している。あまり同調的でない意見(「間違っていると思う」「関心がない」)は、『②結婚相手を選ぶときには、家柄などの釣り合いを気にする』は54%、『③家の相続など、長男には他の子どもとは異なる役割がある』は63%で最も高く、これは前回調査と変わっていない。

問4 あなたは、「人権」から連想する言葉はどれですか。次にあげる言葉の中から、感じたままをお答えください。(〇はいくつでも)

平等	差別	公正	自由	尊厳	共生	格差
81% (81%)	53% (58%)	47% (42.7%)	46% (40.1%)	37% (33.6%)	24% (20.7%)	24% (26.1%)
友愛	自立	暴力	抑圧	わからない	その他	
20% (15.5%)	19% (18.4%)	11% (8.1%)	10% (9.6%)	3% (2.2%)	2% (1.6%)	

全体(662)

### 「人権」から連想する言葉として、最も結びつくものは「平等」

「人権」から連想する言葉は何かをたずねたところ、「平等」「差別」「公正」「自由」「尊厳」の順で高く、前回調査から変化は見られない。

問5 過去3～4年の間に、あなた自身が差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか。

感じたことがある	感じたことがない	わからない	無回答
17% (22.2%)	71% (66.2%)	10% (10.9%)	2% (0.7%)

全体(662)

### 差別や人権侵害を感じた人の割合は約2割

差別や人権侵害を受けたと感じた経験について、今回は「ない」と答えた人は前回より増加しており、反対に「ある」と答えた人は前回より減少している。

**問5-1 【問5で「1 ある」と答えた方のみ回答】**  
 どのようなことで人権が侵害されたと感じられましたか。(〇はいくつでも)

あらぬ噂・悪口・かげ口を言われた	仲間はずれ、嫌がらせをされた	名誉・信用棄損、侮辱を受けた	差別的、不当な待遇を受けた
45% (52.7%)	32% (22.4%)	31% (25.5%)	25% (35.2%)
プライバシーを侵害された	暴力、脅迫、強要を受けた	セクシャルハラスメント(性的嫌がらせ)を受けた	振り込め詐欺などの不法行為を受けた
20% (15.2%)	7% (前回選択肢なし)	5% (8.5%)	5% (前回選択肢なし)
悪臭、騒音等の公害を被った	ストーカー行為に遭った	その他	
5% (4.8%)	3% (前回選択肢なし)	13% (16.4%)	

全体(111)

「その他」の回答

- 結婚してすぐの時、「子どもはまだか?」「子どもは1人じゃだめ。」と言われた。
- マタニティハラスメント
- 男尊女卑
- 上司(男)から、仕事は平等だと思うのに、女だからと外された。

**人権侵害の内容については、「あらぬ噂、悪口、かげ口」が約5割**

人権侵害の内容について、「あらぬ噂、悪口、かげ口」と回答した人が45%と最も高く(前回52.7%)、ついで「仲間はずれ、嫌がらせをされた」が32%(前回22.4%)、「名誉・信用棄損、侮辱を受けた」が31%(前回25.5%)、「差別的、不当な待遇を受けた」が25%(前回35.2%)となっている。また、今回調査で新たな選択肢として「暴力、脅迫、強要を受けた」「振り込め詐欺などの不法行為を受けた」「ストーカー行為に遭った」を入れたところ、それぞれ[3%、7%、5%]の方が選択した。

問5-2 【問5で「1 ある」と答えた方のみ回答】その時あなたはどうされましたか。  
(○はいくつでも)

何もしなかった、我慢した	家族・親族に相談した	友達・同僚に相談した	自分で処理(解決)した
42% (46.1%)	39% (31.5%)	32% (38.2%)	14% (20%)
職場の上司に相談した	警察に相談した	公共機関(法務局・県・市町村)に相談した	弁護士に相談した
12% (7.9%)	11% (前回選択肢なし)	7% (前回選択肢なし)	5% (前回選択肢なし)
人権擁護委員・民生委員に相談した	民間団体に相談した	その他	
3% (前回選択肢なし)	2% (前回選択肢なし)	6% (15.2%)	

全体(111)

「その他」の回答

○上司に相談するも何もしてくれない。話を聞くことだけだった。

### 人権侵害を受けたとき、「何もしなかった、我慢した」が約4割

人権侵害を受けたと感じたとき、「何もしなかった、我慢した」と回答した人は42%(前回46.1%)で、「家族・親族に相談する」は39%(前回31.5%)、「友達・同僚に相談する」は32%(前回38.2%)となっている。一方、「自分で処理(解決)した」は14%(前回20%)となっている。また今回調査で新たな選択肢に入れた項目を選んだ人もいる。

問5-3【問5で「2 ない」と答えた方のみ回答】もし、あなた自身が人権を侵害されたとしたら、あなたはまずどのような対応をされますか。(〇は1つだけ)

家族・親族に相談する	友達・同僚に相談する	自分で処理(解決)する	公共機関(法務局・県・市町村)に相談する
40% (40.4%)	17% (15.2%)	16% (12.6%)	10% (6.3%)
人権擁護委員・民生委員に相談する	何もしない、我慢する	弁護士に相談する	警察に相談する
10% (7.1%)	7% (5.7%)	4% (前回選択肢なし)	3% (前回選択肢なし)
職場の上司に相談する	民間団体に相談する	その他	
3% (前回選択肢なし)	1% (前回選択肢なし)	5% (5.9%)	

全体(472)

「その他」の回答

- 状況により対処が異なると思う。
- 人権侵害を受けていることに気付かない可能性が高い。
- 内容に応じて警察・法務局・弁護士などに相談する。

### 人権侵害を受けた場合、「家族・親族に相談する」と答えた人が4割

もし人権が侵害されたとしたら、「家族・親族に相談する」と回答した人が40%(前回40.4%)で、「友達・同僚に相談する」が17%(前回15.2%)、「自分で処理(解決)する」が16%(前回12.6%)となっている。この数値は前回調査と大きな変化は見られない。また今回調査で新たな選択肢に入れた項目を選んだ人もいる。

## 2 さまざまな人権問題の意識や考え方について

### 【女性に関して】

問6 あなたは、女性に関して、現在どのような人権上の問題があると思われますか。  
(○は3つまで)

①職場における差別待遇(賃金、昇格、ポスト、職種など)	②男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事」・「女は家庭」など)	③痴漢やストーカーなどの性的暴力	④職場や学校におけるセクシャルハラスメント(性的嫌がらせ)
45% (51.4%)	41% (49.8%)	35% (34.7%)	32% (26.5%)
⑤夫や恋人からの女性への肉体的・精神的な暴力など	⑥いわゆる「援助交際等」を含む買春・売春	⑦その他	⑧特にない
18% (20.7%)	10% (14.5%)	3% (1.6%)	11% (9.8%)
⑨わからない			
7% (7.1%)			

全体(662)

#### 「その他」の回答

○人生、社会生活を送るうえで一番大切なのは相手を思いやる心、家庭の延長だと思えます。仕事となれば、厳しさもありますが、男女の得意を生かしながら頑張るべきです。

○今は様々な場面で平等を心がけている人が多くなっていると思う。昔とは違って良くなっていると思う。

○長男の嫁だからというだけで、様々なことを要求される。精神的な負担。

○妊娠出産時のパワハラ

○結婚、出産について言われる(結婚はまだ?子どもは?2人目は?)

**女性に関する人権問題として、「職場における差別待遇」、「男女の固定的な役割分担意識」をあげる意見が4割超**

女性に関する人権上の問題点として、「職場における差別待遇(賃金、昇給、ポスト、職種など)」と回答した人が45%(前回51.4%)、「男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」)」とした人は41%(前回49.8%)、「痴漢やストーカーなどの性的暴力」とした人は35%(前回34.7%)となっている。この数値は前回調査と大きな変化は見られない。

問7 【問6で「①職場に…」～「⑦その他」と答えた方のみ回答】あなたは、女性の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

学校教育の中で男女平等の考え方や男女共同参画についての教育を進める	保育などの施設や制度を整え、女性も安心して働けるようにする	男性も家事・育児を共同するよう働きかける	働く場での男女格差をなくすために、企業や事業主などに働きかける
49% (39.3%)	47% (55.4%)	40% (前回選択肢なし)	36% (44.9%)
各種審議会委員など市の政策決定の場に女性をもっと多く登用する	女性に対する暴力から身を守るための施設や機関を充実する	女性のための各種相談業務を充実する	女性の自立を目指す学習機会の拡充や情報提供を推進する
26% (20.3%)	16% (15.9%)	16% (15.6%)	15% (14.1%)
各種活動のリーダーとなる女性を養成する	健康対策や母性保護対策を進める	その他	わからない
10% (9.2%)	7% (8.6%)	4% (2.9%)	4% (2%)

全体(544)

#### 「その他」の回答

○外では女性の人権とか言うが、家に帰ると男の人は何もしないで女性だからと食事の用意、掃除等をさせる人が多いのでは？

○学校教育と連携して、家庭教育で幼いころから男女平等の考え方を定着させることが必要ではないか。学校で習っても家庭で実践されていないと子どもの価値観として根付かない。

○そもそも女性の人権、男性の人権という言葉をなくす。

○女性に対するサポートよりも男性側の意識改革が必要。

女性の人権を守るために必要なこととして、「学校教育の中で男女平等の考え方や男女共同参画についての教育を進める」、「保育などの施設や制度を整え、女性も安心して働けるようにする」が約5割

女性の人権を守るために必要なこととして、「学校教育の中で男女平等の考え方や男女共同参画についての教育を進める」は49%(前回39.3%)、「保育などの施設や制度を整え、女性も安心して働けるようにする」は47%(前回55.4%)の人が選んでいる。「男性も家事・育児を共同する」は前回調査では選択肢に入っていなかったが、今回調査では40%と3番目である。「働く場での男女格差をなくすために、企業や事業主などに働きかける」は36%(前回44.9%)だった。

## 【子どもに関して】

問8 あなたは、子どもに関して、現在どのような人権上の問題があると思われますか。  
(○は3つまで)

①「仲間はずれ」や「無視」、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたり、させたりするなどのいじめを行う	②いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする	③親が子育てを放棄したり、放任したりして子どもと関わらない	④親がいうことを聞かない子どもに暴力を加えるなど子どもを虐待する
61% (65.1%)	49% (55.3%)	47% (51.8%)	35% (33%)
⑤進学・就職先などの選択について、子どもの意見を尊重しない	⑥先生が授業中に騒いだ子どもをなぐるなど体罰を加える	⑦子どもの様子を探るため、手紙や日記、メールなど勝手に見る	⑧制服の着用が義務づけられる
10% (10%)	6% (前回選択肢なし)	5% (10.4%)	3% (前回選択肢なし)
⑨その他	⑩特になし	⑪わからない	
3% (7.1%)	9% (6.3%)	6% (4.7%)	

全体(662)

### 「その他」の回答

- 親が子どもの問題に出すぎること。
- 学校に行けなくなった子どもが通える施設をつくる。
- 制服は良いが、性的マイノリティーの子どもがスカート、ズボンを強要されることには疑問がある。選べれば良いと思う。
- 核家族が増え、共働きなどにより気持ちの余裕がない親が増えているのではないのでしょうか？
- 若い世代の人達は、働かないと生きていけない時代になっています。せめて、子どもを育てるある一定の間、安心して子どもを育てることができるようになればと思います。
- 「いけないことはいけない」とはっきり教えること
- 暴力や虐待などを経験して育てられた子どもが親になった時に自分が子どもに同じことをするのはと思います。
- 道徳教育の充実が必要。特に善悪の基準。
- 学校や教育委員会とはまったく別にいじめを調べるシステムが必要と思う(隠そうとする)。
- 先生がいじめ主犯を学校に呼ぶのではなく、いじめられた被害者を呼びつけ、話をしてお前が悪いと言われたこと。被害者蔑視。

子どもに関する人権問題として、「『仲間はずれ』や『無視』、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたり、させたりするなどのいじめを行う」が6割以上

子どもに関する人権上の問題点として「『仲間はずれ』『無視』などのいじめ」を選んだ人は61% (前回65.1%)いる。さらに「いじめを見て見ぬふりをする」が49%(前回55.3%)、「親の育児放棄や放任」が47%(前回51.8%)の順になっている。これは前回調査と同じである。

問9 【問8で「①仲間はずれ・・・」～「⑨その他」と答えた方のみ回答】あなたは、子どもの人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

いじめや非行、虐待の早期発見や予防策の充実に努める	学校教育などで他人を思いやる心を育てる	子どもに豊かな体験をさせ、たくましく生きるための力を身に付けさせる	子どもの人権を守るための教育・啓発を推進する	
40% (34.9%)	35% (40.4%)	33% (44%)	31% (19.8%)	
子どもは独立した人格(プライバシーや自由に意見を表明する権利など)があることを理解する	教師の人間性や資質を高める	子どものための人権相談、カウンセリングを充実する	子どもの個性を尊重する	
27% (23.1%)	24% (25.4%)	22% (21.1%)	20% (18.1%)	全体(564)
家庭教育に対する支援を行う	子どもにとっての有害な環境を改善する	体罰禁止を徹底させる	その他	わからない
17% (19.2%)	15% (21.1%)	8% (前回選択肢なし)	4% (7.2%)	2% (0.9%)

#### 「その他」の回答

○子どもは基本的な生活習慣は家庭が基本で養うものであり、学校ではなく家庭でも人権を養わせてほしいものです！

○孫が友達と仲良くすごしていればいい。学校でいじめ、けんか、仲間はずれはないかと話している。

○親が子どもの事をよく見抜くこと。

○人間は何らかの才能を持って、この世に生まれてきているというのがあります。だからこそ、他者に嫉妬しないで自分の能力を信じて生きて行ってほしいと思います。

○子ども自身が自立しなくてはならないと考えるような成長の仕方が必要。

○学校だけに頼るのではなく、親がもっと大人の親になるべきだと思う。

○大人を教育するのはなかなか難しいと思う。妊娠中の女性(旦那さん)に命の大切さ・尊さを一から学んでもらうのがいいと思う。

○子どもと接するための大人向けの相談窓口やカウンセリングの場づくり。

○人権は学校から学ぶことも必要だが、家庭生活から生まれてくる(人権＝モラルではないか?)。家庭生活が崩壊している昨今、親から子に教えることが少ないため、学校が犠牲になっている。社会がもっとモラルについて考え、学ぶべきではないか。

○学校でいじめはある事を認める事を怖れない姿勢→相談しても教師は「無い」という。訴えがある時点で子どもは傷ついている＝いじめを受けていると感じているので、きちんと対応してほしい。

子どもの人権を守るために必要なこととして、「いじめや非行、虐待の早期発見や予防策の充実に努める」「学校教育などで他人を思いやる心を育てる」が約4割

子どもの人権を守るために必要なこととして「いじめや非行、虐待の早期発見や予防策」と回答した人が40%(前回34.9%)、次いで「学校教育などで他人を思いやる心を育てる」が35%(前回40.4%)、「子どもに豊かな体験をさせ、たくましく生きるための力を身に付けさせる」が33%(前回44%)の順になっている。また、「子どもの人権を守るための教育・啓発を推進する」を選ばれた方が前回より増えている。

## 【高齢者に関して】

問10 あなたは、高齢者に関して、現在どのような人権上の問題があると思われますか。  
(○は3つまで)

①高齢者にとって暮らしやすい生活環境となっていない	②経済的な保障が不十分である	③悪徳商法・振り込め詐欺の被害にあう	④病気になったとき十分な介護・看護サービスが受けられない
37% (39.4%)	35% (38.8%)	33% (35.4%)	29% (38.6%)
⑤長年培った知識や経験を活かす場がない	⑥就職が困難であったり、賃金などの労働条件で不利に扱われたりする	⑦迷惑がられたり、中傷されたり、邪魔者扱いされたりする	⑧賃貸住宅などへの入居を断られる
24% (24.9%)	23% (21.4%)	21% (25%)	7% (前回選択肢なし)
⑨その他	⑩特になし	⑪わからない	
2% (7.8%)	11% (5.4%)	5% (3.9%)	

全体(662)

### 「その他」の回答

○病気をした時の医療費・交通費などの経済的負担。高齢者の運転による事故が多いが、車を使わなくてもすむ様な公共交通機関のきめ細かさがないのも一因。

○独居老人の生活のケアや支援(啓発、交通手段、財産管理など)が不十分。

○福祉の充実を求める。

高齢者に関する人権問題として、「高齢者にとって暮らしやすい生活環境となっていない」が約4割

高齢者に関する人権上の問題点として、「高齢者にとって暮らしやすい生活環境となっていない」を選んだ人は37%(前回39.4%)、「経済的な保障が不十分である」は35%(前回38.8%)、「悪徳商法・振り込め詐欺の被害にあう」は33%(35.4%)となっている。前回調査と大きな変化は見られない。

問11 【問10で「①高齢者に…」～「⑨その他」と答えた方のみ回答】あなたは、高齢者の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

福祉サービスや利用施設を充実する	高齢者介護などの支援を社会全体で支える機運を高める	保健・医療サービスを充実する	就職機会や働く場を確保する
56% (56.5%)	47% (52.4%)	43% (54.1%)	30% (28%)
高齢者和其他の世代との異世代間交流を促進する	高齢者の人権を守る教育・啓発広報活動を推進する	高齢者のための人権相談を充実する	建物や公共機関のユニバーサルデザイン化を進める
26% (28.6%)	13% (11.2%)	13% (10.9%)	11% (10.4%)
成年後見制度など財産管理に対する制度を充実する	その他	わからない	
9% (9.3%)	3% (1.7%)	3% (2.1%)	

全体(558)

「その他」の回答

- 高齢者が必要とされる場を増やす。
- 高齢者の外出の時、移動手段の活用を良くする。
- 福祉サービス、利用施設、保健・医療といったサービスを充実したほうがいい。
- 現在、介護の現場では人手が足りないと聞いています。AIを活用すると、高齢者にも介助者にも優しい環境が整うのではないかと思います。

**高齢者の人権を守るために必要なこととして、「福祉サービスや利用施設を充実する」が約6割**

高齢者の人権を守るために必要なこととして、「福祉サービスや利用施設の充実」を選んだ方は56%（前回56.5%）、次いで「高齢者介護などの支援を社会全体で支える機運を高める」が47%（前回52.4%）、「保健・医療サービスを充実する」が43%（前回54.1%）の順で高く、他の選択肢においても大きな変化は見られない。

## 【障がいのある人に関して】

問12 あなたは、障がいのある人に関して、現在どのような人権上の問題があると思われますか。(〇は3つまで)

①心身に障がいのある人に対する理解が足りない	②就職や職場で不利な扱いをする	③人権上の配慮を欠いた差別的な言動をする	④結婚問題で周囲が反対する
53% (56.3%)	42% (47.1%)	32% (30.8%)	27% (27.3%)
⑤じろじろ見られたり、避けられたりする	⑥学齢期の子どもを中心に「いじめ」がある	⑦スポーツや文化活動・地域活動に気軽に参加できない	⑧賃貸住宅への入居が困難である
18% (26.4%)	13% (12.8%)	13% (13.2%)	5% (5.8%)
⑨その他	⑩特にない	⑪わからない	
1% (1.7%)	6% (4.6%)	9% (6.6%)	

全体(662)

### 「その他」の回答

○障がいを持つ人が一生生活する上で家族(主に親)が保護している。年齢的にも社会が支援できるようにすべきである。

○小さい時から障がいを特性と思えるような教育が必要。障がいを持つ人と分けないで生活すること。

障がいのある人に関する人権問題として、  
「心身に障がいのある人に対する理解が足りない」が約5割

障がいのある人に関する人権上の問題として、「心身に障がいのある人に対する理解が足りない」を選んだ人は53%(前回56.3%)、次いで「就職や職場で不利な扱いをする」が42%(47.1%)、「人権上配慮を欠いた差別的な言動をする」が32%(前回30.8%)の順になっており、これは前回調査と変わらない。

問13 【問12で「①心身に…」～「⑨その他」と答えた方のみ回答】あなたは、障がいのある人の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

就職の機会や働く場を確保する	幼少期から障がいのある人に対する思いやりを深める教育・啓発を推進する	本人の意思に基づいて生活できるよう支援する	障がいのある人の人権を守る教育・啓発を推進する
52% (53.3%)	44% (45.4%)	44% (46.5%)	29% (22.6%)
福祉サービスや利用施設を充実する	障がいのある人との交流を促進する	医療やリハビリテーションを充実する	障がいのある人のための人権相談を充実する
23% (25.6%)	22% (28.4%)	15% (16.2%)	13% (12.3%)
建物や公共機関のユニバーサルデザインを進める	その他	わからない	
12% (14.7%)	1% (1.4%)	2% (2.1%)	

全体(561)

「その他」の回答

〇障がい者の人との関わり方を知ることのできる機会を作る。どう関わったいいかわからないから不用意に避けたり、変な対応をしている所はあると思うので。

障がいのある人の人権を守るために必要なこととして、  
「就職の機会や働く場を確保する」が約5割、  
「幼少期から障がいのある人に対する思いやりを深める教育・啓発を推進する」  
「本人の意思に基づいて生活できるよう支援する」が4割以上

障がいのある人の人権を守るために必要なこととして、「就職の機会や働く場の確保」を選んだ人は52%(53.3%)、次いで「幼少期からの教育や啓発」が44%(前回45.4%)、「本人の意思に基づく生活支援」が44%(46.5%)の順になっており、これは前回調査と大差ない。これら3つの選択肢に集中する傾向が見られる。

## 【同和問題に関して】

問14 あなたは、同和問題についてどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけお選びください。

今も差別意識が残っている	すでに解決されている	知らない	昔からない
41% (51.8%)	31% (24.6%)	15% (12.8%)	3% (2.7%)
その他	無回答		
5% (4.4%)	5% (3.6%)		

全体(662)

「その他」の回答

○ほとんど感じない。

○年代による違いが見られるような気がします。昔に比べ、差別意識が減りつつあると思う。

○解決されていると思うがどの程度かはわからない。

同和問題は「すでに解決されている」と考える人と「今も差別意識が残っている」と考える人の割合の差が縮まっている

同和問題について、「今も差別意識が残っている」と回答した人が41%(前回51.8%)と最も高く、次いで「すでに解決されている」が31%(前回24.6%)の順になっている。

問15【問14で「2 今も差別意識が残っている」と答えた方のみ回答】あなたは身の回りでどんな差別があると思われますか。(具体的に記入)

#### 回答内容

○結婚問題が一番のネックで有る！私は人間は皆平等で有ると思いますが、同和地区に対しての差別、就職差別、結婚差別が今でも根強く残っている。同和問題はどうか解決できるのでしょうか？誰も同和地区に好んで生まれた訳では無いのに。(40代男性)

○高齢者には差別意識が残っているように思われるが、若い年齢の者には殆ど知らない人が多いと思われる。同和問題の解決は交流の機会を多くすることにあると思われる。(80以上男性)

○部落のある地域をいまだに耳にする。そこに住んでいる人は怖い人と言われている。結婚の時も反対される。現代の人は何でか、どうしてか何も理解はしていない。ただ人伝え、祖父母から何となく言われたから、という理由で差別意識を持っている。その土地を離れ、理解してくれる相手と結婚し、静かに暮らしていくことで、子どもに同じ思いを少しでもさせないようにコツコツと日々を重ねるしか方法はない。幼いころから人に迷惑をかけない、がまんする、耐える、私はそうやって生きてきました。でも今でも私を含め兄弟姉妹も苦しみに耐えて、いつかはきつという思いで生活しています。(40代女性)

○結婚が一番のネックであると思う。が、最近では若い人、堂々としており、隠すことなく、その地名を口にされる。私自身が恥ずかしくなるほど堂々としておられ、喜ばしい事です。時々思うのですが、差別と一緒にするのが男女差別でなんでもかんでも、女だから・・・と言われるのは間違っていると思う。お茶くみなども男もしなければならぬと言うが、女性の優しい手で「お疲れさま」とお茶を差し出されたら嬉しいのではないか。差別と言う前に優しさを持って人に接する事が大事だと思います。(60代女性)

○具体的な差別は無いが、「意識の中に差別がある」と感じる事がある。(70代女性)

○結婚についてはまだ差別意識が残っていると思うが、日常の生活の中では差別意識はほとんどないと思う。(80以上女性)

○むかしから聞いていること、また、学校で習ったこと等、頭に残っているから。差別してはいけないとわかっているが、心のどこかには差別の目で自分自身みているかもしれない。(60代男性)

○住む地域によって同和だからとの言葉を耳にすることがある。高齢の方から聞く事があるが若い人からは聞くことはない。(50代女性)

○差別は解決されつつあると思います。現在は表面にはでてきません。しかし、まだ意識として残っている人もいるように思われます。(見えないところで)(60代女性)

○自分は差別はしないと生活していますが、差別を人前で平気で口にすることがまだ見られる事にびっくりです。(70代女性)

○自分たちの親世代(60～70代)の中には「あの地区の人は・・・」という人がいるのを見聞きしたことがあるので、具体的な差別ではないが、年配の人たちの中には潜在的に差別の意識が残っているのではないかと思った経験がある。(30代男性)

○私はその当事者ですが、職場内とか一般的な会話の中で、誰々はあそこの出身じゃからとか、あいつにはかかわらん方がええとか耳にする事がある。あえてそういう時は知らん顔してますがいい気はしない。(60代男性)

## 【外国人に関して】

問16 あなたは、外国人に関して、現在どのような人権上の問題があると思われますか。  
(○は3つまで)

①就職が困難であつたり、賃金などの労働条件で不利に扱われたりする	②困った時に相談するところがない	③地域社会での受け入れが十分でない	④結婚問題で周囲から反対される
33% (42.9%)	33% (38.9%)	32% (34.2%)	13% (16%)
⑤選挙権が認められていない	⑥周囲から蔑視されたり中傷されたりする	⑦賃貸住宅への入居を断られる	⑧その他
13% (14.7%)	8% (9.7%)	5% (5.7%)	1% (1.3%)
⑨特にない	⑩わからない		
14% (9.7%)	26% (20.7%)		

全体(662)

### 「その他」の回答

○日本は人口減少等で外国人の労働力を必要としているが、日本人の嫌がる仕事に外国人を雇ったりすることがあるのではと思います。

○言葉の壁があるので理解が進まない。

**外国人に関する人権問題として、「就職が困難であつたり、賃金などの労働条件で不利に扱われる」「困ったときに相談するところがない」「地域社会での受け入れが十分でない」が3割を超える**

外国人に関する人権問題として、「就職が困難、労働条件の不利」が33%(前回42.9%)、「相談するところがない」が33%(前回38.9%)、「地域社会での受け入れ不十分」が32%(前回34.2%)と、この3項目に選択が集中している。前回調査と大きな変化は見られない。一方、「わからない」と回答した人も26%(前回20.7%)となっている。

問17 【問16で「①就職・・・」～「⑧その他」と答えた方のみ回答】あなたは外国人の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

日常生活に必要な情報や案内を伝える工夫(多言語化等)する	相互理解を促進するための交流・ふれあいの場を設ける	外国人の就職の機会・賃金・労働条件の平等を確保する	日本語学習の機会や場を提供する
48% (43.7%)	47% (47.8%)	41% (47.4%)	34% (42%)
多言語対応の人権相談を充実する	国際理解の教育・在日外国人教育・人権教育などの教育・啓発を推進する	外国人の人権を守るための教育・啓発を推進する	その他
30% (29.4%)	28% (25.3%)	22% (17%)	2% (2.1%)
わからない			
12% (5.4%)			

全体(397)

「その他」の回答

○外国人に慣れる(見た目、文化、考え方など違って当たり前なこと)

○日本人はなかなか外国人と打ち解けない面がありますが、文化・文明の受け入れと同様、人間そのものも受け入れる感覚を身に付けることが大切と思います。

○言葉の壁を早く取り除くことがお互いを理解する早道である。

○高齢化社会が進む時代において、外国人が自由に働ける社会の構築が必要(全国的な問題)

外国人の人権を守るために必要なこととして、「日常生活に必要な情報や案内を伝える工夫(多言語化)」や「相互理解を促進するための交流・ふれあいの場を設ける」が約5割

外国人の人権を守るために必要なこととして、「日常生活に必要な情報や案内を伝える工夫」が48%(前回43.7%)、「相互理解を促進するための交流・ふれあいの場を設ける」が47%(前回47.8%)次いで「就職の機会・賃金・労働条件の平等を確保する」が41%(前回47.4%)となっている。「日本語学習の機会や場を提供する」も34%(前回42%)となっている。

## 【現代社会における新たな問題について】

問18 インターネットに関して、現在どのような人権上の問題があると思われますか。  
(○は3つまで)

①特定の人に対しての悪口や差別表現、根拠のない誹謗・中傷の書き込み、いじめなど	②他人の個人情報をもって掲載することによるプライバシーの侵害	③有害と思われる写真・画像などの情報の流出	④ネット依存による情緒不安定や睡眠障害などの健康被害
54%	38%	33%	26%
⑤出会い系サイトによる誘い出し、性的被害や暴力行為など	⑥インターネット販売の金銭トラブル・脅迫など	⑦SNSやゲームサイトでのトラブル	⑧社会を脅かす犯行予告
21%	15%	14%	9%
⑨その他	⑩特になし	⑪わからない	
2%	4%	15%	

全体(662)

「その他」の回答

- インターネットを利用したことがないので、わからない。
- 安易に個人情報をのせているが、ネット上にのせる意味をもう少し教育すべき。
- 便利ではあるが問題も多く、課題は多いように思う。

**インターネットに関する人権上の問題として、「特定の人に対しての悪口や差別表現、根拠のない誹謗中傷の書き込み、いじめなど」が5割を超える**

今回が初めての調査。インターネットに関する人権上の問題として、「特定の人に対しての悪口や差別表現、誹謗中傷の書き込み、いじめなど」と回答した人が54%、「プライバシーの侵害」が38%。「有害な写真・画像などの流出」が33%となっている。

問19 【問18で「①特定の・」～「⑨その他」と答えた方のみ回答】このような問題を解決していくために必要だと思われることはどのようなことだと思われますか。(〇は3つまで)

不適切な情報発信者に対する監視・取締を強化する	掲示板やSNSなどの管理者に対して情報の停止・削除を求める	ネット利用者やプロバイダー等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する	インターネットにより人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する
74%	59%	52%	33%
その他	特に必要なことはない	わからない	
2%	1%	9%	

合計(538)

「その他」の回答

○リテラシー教育(情報機器を利用して、膨大な情報の中から、必要な情報を読み取り、自分の意見も含めて発信することができる能力やスキルを身に付ける教育)の充実

○子どもだけでなく、親にもいろいろ知ってほしい。「子どもがしている事、よくわからないから…」という親が多すぎる!

○写真の掲載等では、写っている本人が拒否した場合にはすぐに削除されるなど、人権侵害を深めないよう法律などをきちんと整備する必要有り。

インターネットに関する人権上の問題を解決する意見として「不適切な情報発信者に対する監視・取締を強化する」が7割を超える

インターネットに関する人権上の問題の解決策として、「不適切な情報発信者への監視・取締の強化」をあげている人は74%、ついで「掲示板やSNS管理者への情報の停止・削除を要請」が59%、「個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深める教育・啓発を推進する」が52%である。「特に必要なことはない」と回答した人は非常に少ない。

### 3 真庭市の人権施策・啓発について

#### (1)人権問題に関する講演会・研修会について

問20 あなたは、これまで人権問題に関する講演会・研修会に参加したことがありますか。  
(○は1つだけ)

たびたび参加した	ときどき参加した	あまり参加したことがない	参加したことがない	無回答
4% (5.7%)	23% (26.1%)	21% (23.7%)	50% (41.3%)	2% (3.2%)

全体(662)

**人権問題に関する講演会・研修会にたびたびまたは時々参加した経験のある人は約3割**

人権問題に関する講演会・研修会への参加について、「参加したことがない」と答えた人が50%と最も多く、「時々参加した」が23%、「あまり参加したことがない」が21%の順になっている。前回調査と大きな変化は見られない。

問20-1【問20で「たびたび参加した」または「ときどき参加した」と答えた方のみ回答】あなたが参加したものは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

県・市町村等の行政機関が主催した講演会や研修会など	PTA主催の学校での講演会や研修会	各種団体が主催した地域の学習会など	職場や職域団体での講演会や研修会
62% (59.3%)	60% (61.9%)	39% (15.7%)	30% (36.4%)
人権関係団体の学習会	自治会などが主催する学習会	その他	
17% (11.4%)	15% (8.5%)	3% (2.5%)	

全体(182)

**参加した講演会・研修会は、「県・市町村等の行政が主催したもの」「PTAなど学校で開催されたもの」が6割を超える**

「県・市町村等の行政主催」が62%と最も多く、ついで「PTAなど学校で開催されたもの」が60%、「各種団体が主催した地域の学習会など」が39%の順になっている。

問20-2 【問20で「あまり参加したことがない」または「参加したことがない」と答えた方のみ回答】参加したことがないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

特に理由はない	講演会等の開催を知らなかった	参加したかったが時間がなかった	人権問題に関心がない
51% (58.4%)	26% (24.8%)	12% (15.7%)	7% (8.5%)
人権というと抵抗がある	人権問題はよく知っている	その他	
7% (前回選択肢なし)	5% (4.1%)	5% (3.9%)	

全体(467)

「その他」の回答

- 人権＝モラルと思っているので、周りの人達との会話などで自分で考えていきたい。
- 地区の役員の方が声をかけて下さったり、学校の先生の声かけもあり参加したこともありました。
- 会場に行く交通の便がないため。

### 講演会・研修会に参加しなかった理由としては、「特にない」が約5割

参加しなかった理由は、「特にない」が51%(前回58.4%)と最も多く、ついで「講演会等の開催を知らなかった」が26%(前回24.8%)、「参加したかったが時間がなかった」が12%(前回15.7%)となっている。

## (2) 真庭市人権作文・ポスター・標語集について

問21 真庭市では、人権作文・ポスターを募集し、優秀作品を「真庭市人権作文・ポスター・標語集」にまとめて配布しておりますが、ご覧になったことはありますか。

見たことがある	ポスターだけ見たことがある	見たことがない	よくわからない	無回答
49% (44.5%)	19% (17.5%)	16% (22.3%)	11% (11.8%)	5% (3.8%)

全体(662)

### ”真庭市人権作文・ポスター集”を見たことがある人は約7割

真庭市人権作文・ポスター集について、「見たことがある」が49%、次いで「ポスターだけ見たことがある」が19%となっており、68%を占めている。前回調査より6%増えている。

問21-1 【問21で「見たことがある」または「ポスターだけ見たことがある」と答えた方のみ回答】人権作文・ポスター・標語集をご覧になられて、どう思われましたか。

人権教育に効果的である	あまり役に立つとは思わない	特にない
56% (48.4%)	27% (35.4%)	20% (13.7%)

全体(449)

”真庭市人権作文・ポスター集”が人権教育に効果的と思う人が約6割

”真庭市人権作文・ポスター集”について、「人権教育に効果的である」と答えた人が56%(前回48.4%)、「あまり役に立つとは思わない」が27%(前回35.4%)となっており、肯定的な評価が高くなっている。

問21-2 【問21で「見たことがない」と答えた方のみ回答】人権作文・ポスター・標語集を見たことがない理由は何ですか。

特にない	見る機会がなかった	人権作文・ポスター・標語集を知らない	人権に関心がない
54% (20.5%)	41% (28.9%)	25% (37.3%)	17% (7.8%)
忙しいので見られない			
12% (7.8%)			

全体(104)

”人権作文・ポスター・標語集”を見たことがない理由は、「特にない」が5割を超える

”人権作文・ポスター・標語集”を見たことがない理由として、「特にない」が44%(前回20.5%)となっている。次に「見る機会がなかった」が41%(前回28.9%)、「知らない」が25%(前回37.3%)となっている。

### (3) 人権啓発パンフレット「ふれあい」について

問22 真庭市では、人権啓発パンフレット「ふれあい」を13号まで作成し、広報紙と一緒に各ご家庭にお配りしていますが、ご覧になったことはありますか。

見たことがある	見たことがない	無回答
54% (49.3%)	40% (47.5%)	6% (3.2%)

全体(662)

#### パンフレット「ふれあい」を、見たことがある人は5割を超える

人権啓発パンフレット「ふれあい」について、「見たことがある」と答えた人は54%(前回49.3%)、「見たことがない」は40%(前回47.5%)となっている。

問22-1 【問22で「見たことがある」と答えた方のみ回答】人権啓発パンフレット「ふれあい」をご覧になってのご感想をお聞かせください。

人権についてわかりやすい内容で勉強になる	特にない	もっと身近な内容にすべきだ	人権ポスターを見るのが楽しみである
36% (29.2%)	33% (29.8%)	18% (22.7%)	8% (8.5%)
毎回同じような内容でつまらない	その他		
8% (10.1%)	2% (2.5%)		

全体(360)

「その他」の回答

○ゆっくり見る時間がなく、目を通して見たことにするので、特に印象に残る等ない。作成している方には申し訳ないですが。

○市役所に行った折、目にしている。広報でも目を通してしている。

○気長に啓発していかなければいけないと思う。

#### パンフレット「ふれあい」を見た感想は、「わかりやすい内容で勉強になる」と「特にない」がともに3割を超える

パンフレット「ふれあい」を見た感想について、「わかりやすい内容で勉強になる」が36%(前回29.2%)、「特にない」が33%(前回29.8%)、「毎回同じような内容でつまらない」が8%(前回10.1%)となっている。

問22-2 【問22で「見たことがない」と答えた方のみ回答】あなたが、人権啓発パンフレット「ふれあい」をご覧になったことがないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

特に理由はない	人権に関心がない	内容が難しい	人権はよく知っている
79% (81.9%)	10% (5.9%)	7% (6.8%)	4% (2.3%)
デザインに興味がない			
3% (2.8%)	全体(262)		

### パンフレット「ふれあい」を見たことがない理由は、「特にない」が約8割

パンフレット「ふれあい」を見たことがない理由として、「特にない」が79%(前回81.9%)、次いで「人権に関心がない」が10%(5.9%)となっている。前回調査と大きな変化は見られない。

### (4)「人権を尊重しあい、共に生きる社会」の実現に向けて

問23 あなたは、真庭市が目指す「お互いに人権を尊重しあい、共に生きる社会」を実現するためには、今後どのような取組が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

学校や地域における人権教育の充実	教職員、保健・医療・福祉関係従事者、公務員など人権にかかわりの深い職業に従事する人の人権意識の高揚	人権意識を高めるための市民啓発の充実	社会に見られる不合理な格差を解消するための施策の充実	
49% (45%)	38% (35.5%)	31% (28.5%)	27% (37.4%)	
企業などにおける人権意識の高揚	人権侵害に対する救済策の強化	ユニバーサルデザインの考えに基づくまちづくりの推進	その他	わからない
21% (19.1%)	16% (17.9%)	10% (9.8%)	2% (2.6%)	13% (19.6%)
				全体(662)

「その他」の回答

- 多様性を受け入れる心、考え方の醸成
- 人権啓発のことは必ず学校とか教員がでるが、一般市民からの視点が必要。自治会等での啓発活動に力をいれる。
- 女性の社会的進出(仕事)も多くなり、職場・地域的にもある程度の人権意識もできてきているのは良いことだと思える。
- 家庭教育が大切と思う。家庭で話す機会を持つ事。
- きれいごとにはしか思えない。

### 『お互いに人権を尊重しあい、共に生きる社会』実現に向けた取組として、「学校や地域における人権教育の充実」と答えた人が約5割

真庭市が目指す『お互いに人権を尊重しあい、共に生きる社会』を実現するために今後必要な取組として、「学校や地域における人権教育の充実」と答えた人が49%(前回45%)と多く、次いで「人権に関わりの深い職業に従事する人の人権意識の高揚」が38%(前回35.5%)と続く。

問24 あなたは、市民一人ひとりが人権を尊重しあうために必要なことは、どのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

人権に対する正しい知識を身に付ける	自分の権利ばかりでなく、他人の権利を尊重する	因習や誤った固定観念にとらわれない	自分の生活している地域の人々を大切にする	
59% (58.7%)	50% (58.5%)	48% (52.8%)	35% (38.5%)	
家庭内での家族の権利を大切にする	職場で、人権を尊重する意識を高めあう	その他	わからない	
22% (22.5%)	19% (15.9%)	1% (1.2%)	7% (3.9%)	全体(662)

「その他」の回答

○自分が全てにおいてスタンダードというわけではないことを認識する。みんな違って、みんないい、という考え方。

○小さい子どもから年寄りまでの各地域のふれあい。

○学校における教育の充実また家庭内での教育が必要。

市民一人ひとりが人権を尊重しあうために必要なこととして、「人権に対する正しい知識を身につける」と答えた人が約6割

市民一人ひとりが人権を尊重しあうために必要なこととして、「正しい知識を身につける」と答えた人が59%(前回58.7%)、ついで「自分の権利ばかりでなく、他人の権利を尊重する」が50%(前回58.5%)、「因習や固定観念にとらわれない」が48%(前回52.8%)の順になっている。前回調査と大きな変化は見られない。

## 4 人権に関する自由意見

### 人権についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見欄には、92名の方々からご意見をいただきました。その中から紙面の都合上申し訳ありませんが、一部の方のご意見を紹介させていただきます

○障がいのある方も高齢者も変な目で見られたり、邪魔な扱いを受けている所をしばしば見かけるけど同じ人間なのだから尊重していくべきだし、むしろ私達健常者が支えてあげるべきだと思う。私は介護職をしているので人生の大先輩である利用者様を尊重し、仕事に携わっていきたいので、その勉強もかねて障がい(主に知的)の方との交流の場やボランティア等ができる機会を設けてほしいです。アンケート対象に選んでくださりありがとうございました。(20代女性)

○最近、テレビでも悲しいニュースがよく目に入ってきます。人権についての意識は子どもの頃から育むものだと思う。小学生でも分かる人権についての勉強を力を入れてやると中学生になって多感な時期でも周りの事をきちんと考えられる子どもになると思う。いらぬ命、なくなってもいい命なんてないんだよ!!という事を小さいうちから認識させたい。(40代女性)

○人権意識を高めるために、小さい時から家庭で、学校で人権を大切にしている教育を進めていかなければいけないと思う。自他の命を大切にすることから始める必要があると思う。命の大切さ、自分の命を守ることを小さい時から教える必要がある。(60代女性)

○私が子どもの頃は子どもにも分かるような差別の考えがいっぱいありましたが、現在孫達を見ていると全然そういう様子は見られません。本当に良く教育がなされていると思います。大人の方がもっともっと考えを変えなくては...と思います。全ての人の正当な権利が守られる世の中が早く来る事を急みます。(70代女性)

○何といっても個人個人でそういう意識を持つようになればよいと思います。いくら学校でそういう教育を受けても市の活動で人権に関わる講演や催しがあっても人の気持ちがないことには...。他人を思いやる心を自分もわすれないようにしたいし、わが子にも忘れないでほしいです。今、いろいろなひどい事件がニュース、新聞で見られます。そんな事件を起こすのはやはり他人を思いやる心が欠けているのではないのでしょうか。他人と関わらない風潮がありますが、寂しいことだと思います。地域の人や行事に関わり参加し、隣は何をする人ぞ...にならないようにしたいものです。(40代女性)

○人権についての意識や関心は、人として生きている上で最も基本的重要な課題であろうと思います。全ての市民が人権意識を向上していくために様々な問題点を思考していく姿勢が求められていることを自覚するべきであろうと考えます。学校教育や社会教育の中で取り組むべき点を十分分析しながら人権意識(尊重の)意識をレベルアップしていくことが大事であります。1つ1つの項目の設定に対して潜在化していることに目を向け、啓発活動への努力が必要と感じています。これからの時代をつないでいく若者世代達に残せる社会環境を素晴らしいものとするために偏見のない共同社会として歩んでいける取り組みをしていく覚悟をもつ必要があろうと強く感じると共にそうありたいと願っております。今後ともよろしく願い申し上げます。(60代女性)

○障がい者、足の悪い方などいろいろな方々が安心して暮らせる環境を希望いたします。車いすなどの駐車場などをもっと増やしていただきたい。障がい者に対してのケイベツする目などをなくして、いろいろな方々が安心できる市になっていただきたいです。ユニバーサルデザインに期待しております。ありがとうございました。また、高齢者、障がい者、若者などが働ける環境、職場、求人情報などを、心から望みます。(30代女性)

○同和問題、人種問題、同性愛問題etc、昔の日本より少しずつ良い方向へ理解されてきていると思いますが、虐待がもっと少なくなる事を願っています。(60代女性)

○個人の人権にかかわる意識を深めていかないと、人を傷つけたりすると思います。現在のいろんな情報を見たり聞いたりして思うことは、理想とする社会はどんな社会だろうかと思います。子どもへの虐待、格差から起こったことのようにも思います。「豊かで平和な社会」とは、個人個人が体現していくことだと思います。それは教育の力しかないと思っています。(60代女性)

○まず自分の一番近くの人、つまり家族・職場の人・地域の人から仲良くして、助け合う(共存する)ことが大切です。(60代女性)

○まず何事も家庭が第一。家庭を大事にし、お互いにコミュニケーションがとれて一丸となり尊重しあうことでその習慣が社会に出た時の流れにつながっていくのではないかと思います。(70代女性)

○身近に感じるのはやはり同和問題であると思う。日本社会の歴史的発展の過程において形成された身分階層構造に基づく差別により、一部の人達が経済的、社会的、文化的に低い状態に置かれ、現代社会においても基本的な人権を侵害されているように思える。こういうことではいけないという意識の輪を自分たちの力で広げて、差別のない社会をつくりたいものである。ひと昔前に比べたら、だんだん良くなってきているように思える。(70代女性)

○私たちが子どもの頃は”人権”というよりは”部落差別”ということで学習したイメージが強いです。現在は”人権”という事で様々な内容があることがこのアンケートで分かりました。日頃は忙しさに流され意識することが少ないですが、このようなアンケートで再度意識することが出来てよかったです。(50代男性)

○若者には今後も正しい知識を学習させる。(学齢期の中で)(50～60代以下は同和教育を受けているので大丈夫かな?)(60代男性)

○人権問題に関して最も強く感じるのは多くの人に「差別している自覚」がないという点。周囲がそうしているから、それが普通だからという理由でしっかり向き合うことがなされていないと思う。実際に自分やその身近に差別が迫ってから考えるのではなく、幼少から人や社会について感じ考える力を培いたい。一方的に教える、望ましい解答を強制するのではない、まずは自分の心を言葉にする教育が望ましいと考えます。今ある差別意識は古い慣習や伝統に起因する根強いものであれば、即時解決はむずかしい。人が入れ替わらねば変わらない。期待をかけるなら新しい世代、またそれをつくる教育かと。(20代女性)

○人権侵害を受けたら、身近な人や相談機関へ声を出していくことができればいいが、なかなかできない場合もあると思う。いろんな方法で啓発して欲しい。人権感覚を育てることも行政・学校の方などですすめてもらえたらと思う。問4のキーワードにあった個人の「尊厳」が守られ、「共生」社会になることを願っています。(40代女性)

○誰かを侮辱する事によって優位に立ったかのように錯覚し第三者を巻き込む行為は恥ずべき事だという事実を知らしめなければ何もかわらない。「無知」という事は、本当は誰かの事を言うのではなく己の中に有るという意味として捉え、弱者に対する理解と尊重を幼いころから教え、大人が手本をみせていかなければならないと思う。昔の狭い集落的考え方では何も変わらず、固執した考えで保身に走らない社会にしていきたい。(40代女性)

○小学生、中学生、高校生のいじめ問題が深刻化していると思います。若い命を守るために教員の質をあげ、自殺する子どもたちをなくす努力が必要だと思います。子どもたちが発する小さなSOSを見逃がさないように…。(50代女性)

○皆が楽しく笑顔で過ごせる真庭であってほしいと思います。私自身は老後を迎えるばかりですが、子ども達、孫達にはイヤな悲しい思いはしてほしくありません。委員会の皆様にはこれからも頑張ってくださいと思います。(50代女性)

○地域の高齢化、独居・空き家が増え、地域を回ってもコミュニティが自分の子どもの頃と比べると、すごく薄くなったように思えます。地域の宣伝カー的な人も今はいません。どこの家が困ることが生じていても分からないし、何を考えているのかも会話がなくて分からない状況です。何事も交流の手始めの第一歩と考え、その手段の具体化が必要と思えます。(50代女性)

○身近な問題ではあっても真剣に考える事がない。こういったパンフレットを読んでいるとふと、我に返ることがあるので改めて考えさせられました。ご苦労様です。勉強になりました。(50代女性)

○真庭市における人権施策の基本方針に基づき、人権意識の高揚に取り組み、「共生社会まにわ」の実現を目指すことは、素晴らしい真庭市づくりに繋がることと確信致します。意識調査(アンケート)でも改めて深く考えさせられ重要性を認識させていただきました。真庭市市民皆様にわかりやすい優しい言葉でより良い共生社会作りを目指して、不合理な格差解消するための施策の充実に一層の取り組みを行政・市民一体で素晴らしい住み良い真庭市となりますように切望致しております。(60代女性)

○人権という分野は非常に難しい内容で、人によって認識が様々だと感じています。これから勉強する学生はともかく、すでに成人している方の認識を変えてもらうというのは難しく、時間の都合上セミナー等に参加される人は少ないのではと思います。ですが、考え方が変わらない限り人権に関する問題はなくならないと思いますので、私自身も少しずつでも意識改革ができればと考えています。(20代男性)

○一言で人権といっても広すぎて分かりにくい。子どもから人権に対する教育は必要だが、大人になってからも必要。家の中のお年寄りや親が差別的なら子どももそういう考えになると思う。むしろお年寄りや親世代の考えを変えなければ、学校でいくら子どもに教えようと変わらないように感じる。不登校の子どもに対し、なまけや親のせいと考える人が多く、久しぶりに登校しても嫌な気持ちになることが多いと聞きます。クラス全体、学校全体、保護者・お年寄り含めて理解が必要。特にお年寄りの方に、理解のない方が多く、孫の前で不登校のことを悪く言い、そういう家の子は(不登校の)その子に対し、「ズル」「怠け者」と悪口を言っているように感じます。(40代男性)

○私はなかなか出来ないことですが、相手の気持ちになって言ったり行動することが大切であると思っています。(60代男性)

○小学校の義務教育の中で、「道徳」という他人を思いやる心をしっかり教え、いじめ(悪質なものを)徹底して無くしていくよう指導・強化すべきではないかと考えます。現在、ゲーム感覚で殺人などを行ってしまうような気がする。人命の大切さや何物にもかえがたい生命を再度少年時代から徹底的に教育すべきである。人権についても同様であると思います。(60代男性)